

将来も安心して使える水道に向けて

呉市上下水道局

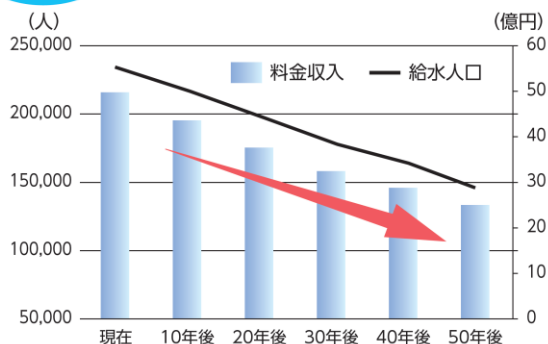
～呉市水道アセットマネジメント(資産管理)計画～

問 計画課 ☎ 26-1628

水道事業は、浄水場・配水池・ポンプ所や水道管など、さまざまな施設から成り立っています。今後50年間に必要な経費と収支を見通し、これらの施設の整備を行うための基本方針を定めましたので、お知らせします。

将来
見通し

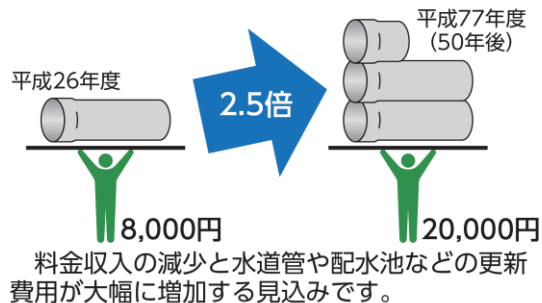
給水人口と料金収入が減少



施設の更新費用が増加



利用者一人一年間当たりに換算すると...



★経営の効率化を着実に進め、更新費用をできる限り抑制していきます



施設整備の基本方針

水源利用の適正化

河川などから取水する施設などを整理し、経費を減らしていきます。

水道施設の老朽化対策

適正な予防保全対策により、施設を大切に長く使い、重要度・優先度に応じて計画的に更新を行います。

施設規模の適正化

給水人口の減少に合わせて、配水池の集約化や水道管の口径を小さくするなどして、できる限り経費を抑えていきます。

危機管理対策

耐震性の高い水道管の布設や、重要な配水池のバックアップ施設の整備を行います。